

はじめに

地方衛生研究所，地方環境研究所は，広い分野でさまざまなサーベイランスを行っている。

サーベイランスの仕事は，一定の短い期間に競争的資金を得て，Positive な結果を出すことを求められる日本の大学のような研究機関には，決してできない仕事である。

地方衛生研究所や地方環境研究所は，何十年分もの膨大なサーベイランスのデータを保有しており，その意義についての見識が不可欠である。

そのためには，さまざまな視点から「山のよう」結果を見直す習慣づけが重要である。

山は東西南北で姿を変え，上空から見下ろし，下からゆっくり足を踏みわけ，季節を変え，また地図で位置を確かめ，周囲の山や川との関係の中で，その全容が理解される。

実は，それは日々の生活の中では，間断なく行われていることでもある。

研究所に働く私たち職員は，検査業務にのみ追われることなく，そこから得られた結果の意義を見極め解釈する力，そしてそれらについて説明するだけの見識と勇気を持つことが求められるのである。

平成25年1月

京都市衛生環境研究所長
石川和弘